



## 座談会特集

## 「学びの芽生え」を育てる幼稚園教育

については次項から

## 小学校特認校制度のご案内

区立小学校への入学にあたっては、お住まいの住所に基づき指定されている小学校への就学を原則としていますが、ご希望により指定校以外の小学校を選択できる「特認校制度」を実施しています。※受入れ人数を超える申請があった場合には抽選を行います。

## 特認校

- 城東小学校 ● 泰明小学校
- 京橋築地小学校 ● 阪本小学校
- 常盤小学校

※特認校以外の小学校は、選択することができません。

## 対象者

区内在住で令和5年4月に小学校第1学年になる予定のお子さん

## 就学の条件

- 児童とその保護者が、就学を希望する特認校の教育方針等に賛同すること

## 中学校自由選択制のご案内

特色ある教育を展開し、開かれた学校や子どもたちにとって魅力ある学校づくりを促進するため、「中学校自由選択制」を実施しています。

お住まいの住所に基づき指定されている中学校への就学を原則としていますが、この制度により、中央区内にお住まいであれば、通学区域以外の学校からでも入学したい学校を選択できます。

## 対象者

区内在住で令和5年4月に中学校第1学年になる予定の児童

## 選択できる範囲

区立中学校4校から選択できます。ただし、選択できる学校は1校のみです。

- 児童が特認校へ自力で通学すること
- 児童が特認校へ卒業まで通学すること

## 申請方法

9月16日(金)より、各学校のホームページに学校説明資料を掲載します。で、教育方針等をよく確認の上、各学校のホームページから『教育方針等確認書兼誓約書』を印刷し、対象者のご家庭に8月上旬にお送りした「特認校就学申請書」とあわせて、区役所6階学務課に持参または郵送により申請してください。

## 申請受付期間

令和4年10月1日(土)～10月15日(土)

※学務課の窓口を持参の場合は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時

※郵送の場合は、令和4年10月15日(土)消印有効※申請時点で中央区民でない方は申請することはできません。

※『教育方針等確認書兼誓約書』を添付しなかった場合や添付があっても署名がない場合は、受け付けることができません。申請受付期間中にすべて揃った段階で受付となります。

● 区立小学校では、自転車での通学を禁止しています。お子さんの通

## 受け入れ人数

各学校ともおおむね40人

## 申請方法

選択を希望する場合は「中学校自由選択制申込書」を記入し、区役所6階学務課に持参、郵送または電子申請により申請してください。

なお、「中央区立中学校案内」および「中学校自由選択制申込書」は、区立小学校に就学されている方へは小学校を通じて配布し、区立小学校以外に就学されている方へは直接(自宅に郵送しました。)\*電子申請を利用される場合は、電子申請サービスのホームページより直接申請してください。

※通学区域の指定校に入学予定の方は申請の必要はありません。

## 申請受付期間

令和4年10月7日(金)～10月21日(金)(土・日曜日・祝日を除く)

## 申請結果の通知

11月上旬に申請結果を通知します。受入れ人数を超える申請があった場合には抽選を行います。実施日時などは別途対象の方へお知らせします。

## 補欠登録

抽選の結果、補欠となった場合は、辞退者が生じたときに登録順位に従い繰上げ当選とします。補欠登録は12月20日(火)までです。この間に繰上げ当選とならなかった場合は、通学区域の学校に入学することになります。

ただし、抽選とならず、なお受入れが可能な特認校があれば、他の特認校を申し込んだものの当選とならなかった方に限り、再度申請することができます(この場合も、申請する学校の『教育方針等確認書兼誓約書』が必要です)。

## 特認校選択の注意点

- 申請書を提出した後の変更はできません。学校の校風や教育方針等を十分理解した上で申請してください。

● 区立小学校では、自転車での通学を禁止しています。お子さんの通

午前8時30分～午後5時

※郵送の場合は10月21日(金)消印有効、電子申請の場合は10月21日(金)必着です。

※申請時点で中央区民でない方は申請することはできません。

## 抽選

受け入れ人数を超える申請があった場合は、抽選を行うことがあります。抽選の結果、補欠となった場合は、辞退者が生じたときに登録順位に従い繰り上げ当選とします。補欠登録期間は令和5年2月28日(火)までです。この間に繰り上げ当選とならなかった場合は、通学区域の学校に入学することになります。

## 選択する際の注意

申込書を提出した後の変更はできません。区立中学校では、自転車での通学を禁止しています。学校を選択する場合はお子さんの通学の安全などを配慮の上、保護者の責任で選択してください。

学の安全等を配慮の上、保護者の責任で判断してください。

## 学校情報の提供

各学校のホームページで随時情報を提供していますので、ご確認ください。

また、通学区域の学校(指定校でも学校公開を実施しています。対象の方にお送りした「中央区立小学校案内」に学校公開の日程を掲載しています。※今後の状況によって、日時の変更や中止となる場合があります。詳細は各学校のホームページで確認ください。

## 個別の事情がある方へ

指定校以外の学校に兄や姉が在学(1～5年生)しているなどの事情がある場合は、指定校変更の申請をすることができますので、学務課学事係へご相談ください。

## 指定校変更の申請受付期間

令和4年9月9日(金)～9月30日(金)(土・日曜日、祝日を除く)

午前8時30分～午後5時

## 問合せ先

学務課学事係  
☎(3546)5512～5514

## 学校情報の提供

学校ごとに説明会や学校公開を実施します。「中央区立中学校案内」や各学校のホームページで確認ください。

※新型コロナウイルスの感染状況によって、日時の変更や中止となる場合があります。詳細は各学校のホームページで確認ください。

## 個別の事情がある方へ

指定校以外の学校に兄や姉が在学(1～2年生)しているなどの事情がある場合は、指定校変更の申請をすることができますので、学務課学事係へご相談ください。

## 指定校変更の申請受付期間

令和4年9月20日(火)～10月6日(木)(土・日曜日、祝日を除く)

午前8時30分～午後5時

## 問合せ先

学務課学事係  
☎(3546)5512～5514



特集

# 「学びの芽生え」

を



**遊びの中の学びについて**  
**平林** 常日頃、幼稚園での教育活動を見ておきますと、幼児がよく遊んでいる、という印象を受けます。先生方、一人一人が創意工夫し、幼児が思わず遊びたくなるような遊具や用具が整えられていること、丁寧に声掛けや支援をしていることがよく分かります。幼稚園教育における「遊びの中の学び」について、現場のご意見を伺いたいと思います。

平成30年に「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂され、幼稚園、保育所、こども園のいずれの施設においても、3歳児以上の幼児には、幼児期にふさわしい質の高い教育を提供するよう明記されました。

今回は、これまで、中央区の幼稚園教育を担ってきた区立幼稚園の教育について、あらためて区民の皆様知っていただくために、「学びの芽生え」を育てる幼稚園教育をテーマに、教育委員会の平林治樹教育長、中島由美子幼児教育担当専門幹、月島第一幼稚園の嶺村法子園長、泰明小学校の浮津健史校長が座談会を行いました。

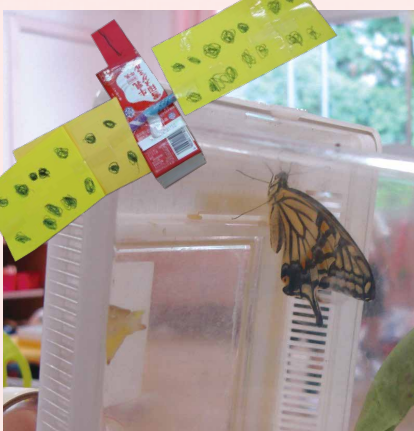


**中島** 実際、遊びの中で幼児はどのようなことを学んでいるのでしょうか。

**嶺村** 例えば、この写真のような大型積み木を使った基地づくりの場面では、年長児が、自分の背丈より大きく、一人では運べない重さの積み木を友達と一緒に持ち上げたり、降ろしたりしています。「そっちを持って」「こっちに置こう」など、言葉で思いや考えを伝え合いながら、まさに、力を合わせる、協力する、とはどういうことをかで体で学んでいます。

また、立方体や直方体、三角柱などをどのように組み合わせると、自分たちの作りたい形ができるのか、実際に大型積み木を動かし、仲間と試行錯誤しながら、長さや高さ、奥行きや間隔など、空間認知に対する感覚も養っています。

積み木ひとつをとっても、ソフト積み木から、中型積み木、大型積み木へと、遊びの中で経験させたいこと、すなわち教育のねらいをもって用意し、発達に必要な経験ができるように援助しています。



**中島** 小学校の校長先生から見て、幼稚園での遊びの中で「学びの芽生え」が培われていると感じるのは、どのような場面でしょうか。

**浮津** 先日、年中児の学級で育てていたアゲハ蝶が羽化しました。小学校であれば、授業の中で全員が観察カードに記入しますが、幼稚園では、担任は気付きを促しながらも一律に観察を求めるのではなく、驚きやうれしさを会話や絵、製作等、様々な方法で表現できるようにしています。

この写真を見てください。羽化したアゲハ蝶を見て気持ちが高まり、作りたい！という気持ちになったからこそ、羽の模様やロール状になっている口の部分まで、幼児は再現していました。

このように、自分なりに表現したい、という意欲は小学校の学習でも非常に大切なことです。また、よく見ること、観察する力は、生活科や理科の学習につながります。



子ども自身が発見したり、気付いたりできるように援助すること、をとても大切にしています。心が動き、何かをやってみたい！と思い、そこから身近な環境に自分から関わって遊ぶ中にこそ、今、その子に必要な学びがあると考えます。そうした経験を積み重ねられるよう、教師は、幼児一人一人への思いや願いを込めて保育室や園庭の環境を整えています。

幼稚園教育は、「環境を通して行う教育」と言われるように、例えば、製作コーナーでは、作りたいときにいつでも自分で材料を選ぶことができる環境を用意しています。時期や年齢に応じて、用意する物の種類や数、量を変え、自分で取り出したり片付けたりできるようにしておく、子どもたちは、遊びに必要な物を自分で作る中で、セロハンテープの切り方、箱と箱のつなげ方、紙の折り方や丸め方、リボンの結び方など、様々な技能を身に付けていきます。

泰明小学校  
 うきつたけふみ  
**浮津健史** 校長

教育委員会  
 なかじま ゆ み  
**中島由美子**  
 幼児教育担当  
 専門幹



**浮津** ハサミで紙を切る経験ひとつとっても、幼稚園では訓練ではなく遊びの中で経験させています。切りたくなるような教材を準備することで、繰り返しハサミの経験を積み重ねることができ、次第にまっすぐ切る、円を切るなどの技能が自然と身に付きます。だからこそ、さきほどのアゲハ蝶を作った幼児のように、作りたいときに作れるようになり、自分なりの表現ができるようになっていきます。

**嶺村** 幼児は、頑張った作品を友達に知らせたい、お店屋さんにお客さん呼びたい、など、心が動き相手に伝えたいという思いがあるからこそ、言葉に出して伝えようとします。教師は言葉や伝え方を取り出して教えるのではなく、まずは幼児の言葉を受け止め、学級全体で話す機会を設けたり、必要な言葉を補ったりしながら、話す姿勢や聞く姿勢に気付かせ、伝わるうれしさに共感しながら、相手に思いを伝えるための伝え方を丁寧に指導しています。





# 育てる幼稚園教育



**平林** 幼児は夢中になって遊ぶことを通して、様々なことを学んでいること、幼稚園時代の学びが小学校以降の学習へ取り組む姿勢や学習の基盤となっていることがよく分かります。

遊びという実体験の中で、協力して何かをやり遂げる力、やり抜く粘り強さ、自ら進んで取り組む力などの非認知能力と、言葉で伝えたり聞いて理解したりする力、数・図形などを理解する力などの認知能力、両方が育っています。

それが「学びの芽生え」ということですね。一見、遊んでいるだけに見えますが、幼稚園での教育活動を通して幼児は豊かに育っています。

先生方の教え子は、もう成人していると思いますが、幼稚園での学びがその後の生き方に影響を与えた、というエピソードがあれば聞かせてください。

**中島** 先日、私が初めて担任として関わり、社会人になった教え子と話をする機会がありました。その人は、幼稚園時代に、絵を描いたり物を作ったりすることを思う存分させてもらったこと、自分の作りたいイメージを伝えると必要な遊具や用具を整えてくれ、一緒にイメージを実現してくれる先生がいたこと、そして、自分が作ったものに対してたくさん認めてくれたこと、これらを鮮明に覚えていると話してくれました。それが意欲や挑戦、自信につながり、引っ込み思案

だった自分が中学生になると、学級代表や海外派遣にも挑戦するようになったと話してくれました。

あらためて幼児期に自分でやりたいことを見付けて遊び込める環境、追究できる環境を整えること、そして、教師の言葉がけひとつひとつが、その後の人生を豊かにするものであることを感じました。

## これからの中央区の幼稚園教育について

**中島** 最後に、これからの中央区の幼稚園教育についてお聞きします。

**嶺村** 幼稚園から小学校に進むと、生活の流れそのものが変わりますから、いわゆる段差を感じるのは当たり前だと思います。その段差を「二年生になったんだ」という喜びに変えて、「えいっ！」と乗り越えられるような自己肯定感を育んで送り出したい、と思っています。それが、これからの人生を支える根っこになると信じています。

そのためにも、遊びや生活の中で、最初はちよつと難しいと感じることも、やってみたらできた！という経験をたくさん積み重ねられるように援助し、初めてのことに對しても「やってみる！」と自分から取り組む意欲的な子どもたちを育てていきたいと思っています。



**浮津** 幼稚園は、小学校のための準備機関ではありません。小学校教育の先取りをするのではなく、幼児期にふさわしい遊びをたくさん経験させることが大事であると思います。幼児期の様々な実体験が小学校以降の学習と結びつき、知識や技能、学びに向かう力となります。そして、遊びや生活の中での驚き、発見、葛藤など、様々な心が揺さぶられる体験は、小学校生活を豊かに過ごす原動力となります。

幼児教育と小学校教育の学びをつなげるためにも、幼小連携をより強固なものにしていくよう努めます。

**中島** 教育委員会としても一層保育の質を高められるよう、職員に対する研修の実施、小学校教育との接続を見据えた幼児教育の更なる充実、保幼小連携事業の推進、体制の構築など、幼児教育から小学校教育へ子どもの学びをつなげる取組を進めていきます。そして、この度、幼児教育の重要性を広く理解していただくために、幼稚園のリーフレットや紹介動画を作成しました。(QR

教育委員会  
ひらばやしはるき  
**平林治樹** 教育長

月島第一幼稚園  
みねむらのりこ  
**嶺村法子** 園長

コード参照)関係諸機関と連携し、保護者や地域に発信してまいります。

**平林** 本日の懇談会を通して、区立幼稚園が大事にしている遊びそのものが、小学校以降の教育の土台である「学びの芽生え」となることをあらためて認識しました。

変化が激しい予測困難な社会の中で、たくましく立ち向かう社会の担い手を育てられるよう、これまで区立幼稚園が培ってきた「環境を通して行う教育」「一人一人に応じた教育」の研究成果を保育所やこども園などに発信し、区立幼稚園が幼児教育のフラッグ

シップとして「学びの芽生え」を培う幼児教育を牽引してほしいと思います。

幼児期に培った力が小学校以降の教育に引き継がれるよう、保幼小連携の取組を推進し、学びの連続性を確保することがますます重要になっていきます。本区の子どもたち一人一人の可能性を引き出し、開花させる幼児教育に今後も期待します。

下記QRコードより  
中央区立幼稚園案内  
(動画・リーフレット)





夏季臨海学校を実施しました

教育委員会では、「海での水泳体験を通じて、心と体を鍛えるとともに、自然のなかで集団生活を送ることで、協調性および連帯意識に基づく豊かな人間関係の形成を図る」ことを目的として、参加を希望する小学校5年生などを対象とした夏季臨海学校を実施しています。

コロナウイルスの影響で3年ぶりの臨海学校となった今年度は、千葉県館山市北条海岸および千葉県鴨川市前原海岸にて、7月21日(木)から8月6日(土)まで、2泊3日の日程で実施しました。

学校のプールでは味わうことのできない、広い海で泳ぐという体験に、参加した児童たちはとてもうれしそうでした。また、仲間と声を掛け合って、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。水泳のほかに、すいか割りや砂浜での作品づくりを行った学校もあり、海辺ならではの活動もすることができました。

令和5年度以降は、一部の学校で引き続き臨海学校を行っていくとともに、森林における自然体験活動である林間学校を実施します。今後も、自然とのふれあいを通して豊かな体験の機会を得ることができる教育活動を推進していきます。



第43回

子どもフェスティバル

前回(元年度)の様子



10月16日(日)  
午前9時30分～午後2時  
(コーナーの開始は午前10時から)

子どもたちのための  
地域による手づくりのイベント  
「子どもフェスティバル」は、  
アイデアに満ちた楽しい催し物がいっぱい  
です。さわやかな秋晴れの一日、たくさん  
のお友だちと楽しい思い出をつくりましょう。

会場 浜町公園・浜町運動場・総合スポーツセンター

内容 工作・ゲーム・スポーツ体験コーナーなど

※車や自転車での来場はご遠慮ください。  
※ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

[問合せ先]  
区民部文化・生涯学習課青少年係  
電話(3546)5304

さくらんぼ をいただきました！



6月23日(木)、友好都市の山形県東根市から、毎年恒例となっているさくらんぼのプレゼントが各幼稚園に届きました。園児たちはつやつやで真っ赤なさくらんぼを見て歓声をあげ、大喜びの様子でした。

また、山形さくらんぼブランド力強化推進協議会が主催するオンラインイベントに今年は久松幼稚園の園児が参加し、画面の向こうの生産者の方へ感謝の気持ちを伝えました。



世界地図 をいただきました！



5月31日(火)、京橋築地小学校で世界地図の贈呈式が行われました。これは、本区の青少年健全育成活動に多方面でご支援いただいている東京銀座ライオンズクラブから毎年いただいているもので、区立小学校5年生全員に配られています。

区立小学校の校章があしらわれたオリジナルの地図には、世界各国の国旗やあいさつの言葉なども紹介されており、受けとった代表児童2人は、情報たっぷりの地図を興味深そうにながめていました。



お絵かきうちわ をいただきました！



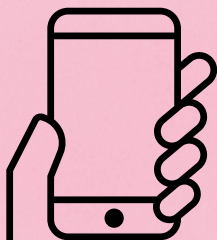
今年も公益社団法人京橋法人会から区立幼稚園全園児にお絵かきうちわがプレゼントされました。

今年の贈呈式は、7月6日(水)に月島幼稚園で行われ、京橋法人会会長の松崎宗仁さん他2名の方から園児代表にお絵かきうちわが手渡されました。園児代表が持つうちわを見て、贈呈式に参加したクラスの皆さんも笑顔を見せるなど、大変喜んでいました。園児からの礼の言葉と元気な歌も披露され、にぎやかな式となりました。



教育委員会の主な活動  
(令和4年7月11日～9月10日)

- 第7回教育委員会定例会および研修会 7月13日(水)
- 第9回教育委員会定例会および研修会 9月7日(水)
- 第8回教育委員会定例会および研修会 8月10日(水)



困っていること、  
お悩みごとを  
ご相談ください

学校問題ほっとライン

中央区立幼稚園、小学校、中学校にお子さんを通園、通学させている保護者の方を対象に、幼稚園、学校に対するご意見、ご要望等について、学校現場での経験豊富な退職校長や副校長が電話相談に応じています。

相談できる日 毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
時間 午前9時～午後5時

03-3546-5745

